

[研究名]

大腿骨転子部骨折^{だいたいこつてんしぶこっせつ}に対する骨接合術例における骨代謝マーカー・骨密度・栄養状態と術後 1 年予後との
関連に関する後ろ向き観察研究

[研究責任者]

香川県立中央病院 整形外科 部長 井上 智雄

[研究の対象・方法]

2018 年 1 月から 2025 年 4 月までの間に当院で大腿骨転子部骨折^{けいきぶこっせつ}（頸基部骨折を含みます）の診断を受け、受傷時の年齢が 50 歳以上で、骨接合術^{すいないていこてい}（髓内釘固定または compression hip screw 固定）を受けられた患者さんについて入院時の骨代謝マーカー、骨密度および栄養状態が、手術後 1 年の時点での経過とどのように関連するかを調査します。

治療成績等を検討することは、今後の治療向上に寄与します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町 1-2-1
香川県立中央病院
電話 087-811-3333（代表）